

区民と区長のタウンミーティング グループワーク意見

	1班	2班	3班
職員と地域との関わり			<ul style="list-style-type: none"> ・現場を知る。 ・活動の内容、事業内容をもっとPR。 ・区活は、地域の出先機関として、コミュニケーションが必要。 ・高齢者会館、自治会、老人会の一体制が必要。 ・職員の知識が薄い。地域のボランティアにたよりすぎ。 ・職員からの勧誘ない。
地域の交流拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSの普及によって地域の人との関わりが希薄に。 ・隣人の顔を知らない(特にアパート、マンション)。 ・地域の人が地域の人に対して興味が無い。 ・高齢化、地域の単身化が進んでいる。 ・近所に無関心。人口の70%。 ・人が集まりやすい。ラジオ体操。カフェカトレア。 ・カフェなどの地域のイベントに参加することで顔見知りをつくろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・顔見知りの人でないと外に出て話しづらい。 ・近所の年代の差を感じる。隣の人が若いと話題が合わない。 ・地域に関わらなければここで死にたいと思えない。 ・あいさつは会釈が返ってきたら良いほう。 ・自分が助けてもらうつもりで地域の人と関わっている。 ・自分から進んで話しかけよう。 ・お節介がよい？ ・趣味でつながる。 ・家族が亡くなって一人になった時すぐ受け入れてくれる施設があると良い。 ・ここに来れば誰かいると思える場所、誘いたいと思える人を見つける/つくる。 ・誰かと話をしたい場所さえあれば！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・広げる為に縦割りの打破。 ・他町会(他区)とのつながりを作る。 ・横のつながりが少ない。自治会、老人会等の連ケイ。PR不足。 ・高齢化でリーダー不足。 ・向こう3軒両隣の作り方。 ・アパート住民をどう引き出すか。 ・スポーツ同好会をつくるなど、趣味を共有する人の集まりを通じて、コミュニケーションを取る。 ・冬季見回りで餅をくばる。 ・団体旅行を企画し、誘い合う。 ・特技を生かしたイベント。 ・SNS等の利用。 ・子どもの(利用)活用。きっかけづくりに。 ・ゼネレーションギャップを打破する方法。 ・参加して楽しい会にしたい。心動かすものは何か。町内会での声かけ。
災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・防災に。台風19号。お茶おにぎり。セーター。薬。トイレトペーパー。雨ガッパで。 ・災害反応 日ごろから最近目立つ。オリンピックに注目しているが災害はもっと注目を。 ・水害対策 ・自助・共助が大切。災害対策のためにも”人と人の輪”が大切である。 ・非常時に顔見知りがあると助け合える。 ・災害時職員は災害証明。情報集め。救済の物資の要求。ボランティアと仕事からめる。 		